

会 議 録

| | | | | | |
|--|---|--------------|---|------|----|
| 会議の名称 | 令和3年度第1回東村山市保健福祉協議会 | | | | |
| 開催日時 | 令和3年11月11日(木)午後7時00分～8時30分 | | | | |
| 開催場所 | 東村山市役所 いきいきプラザ2階 学習室 | | | | |
| 出席者 及び欠席者 | <p>●出席者：</p> <p>(委員) 黒田克也委員・河津英彦委員・橋本洋子委員・小西勇人委員・石塚卓也委員・日高真実委員代理・畠山香壽恵委員・大原喜美子委員・水野セイ子委員・佐藤和枝委員・太田元委員・今井和之委員・井原哲人委員・山路憲夫委員・岡本やよい委員・村上賢治委員</p> <p>(市事務局) 渡部市長・山口健康福祉部長・花田健康福祉部次長・瀬川子ども家庭部長・新井地域福祉推進課長・小向自立相談課長・江川介護保険課長・小倉障害支援課長・津田健康増進課長・嶋田子ども保健・給付課長・宮本地域福祉推進課主査・羽生地域福祉推進課主査</p> <p>●欠席者：</p> <p>松川恒委員・増田敏喜委員・大木幸子委員</p> | | | | |
| 傍聴の可否 | 傍聴可能 | 傍聴不可の場合はその理由 | / | 傍聴者数 | なし |
| 会議次第 | <p>1 開会</p> <p>2 委嘱状交付(机上配付)、委員あいさつ</p> <p>3 市長あいさつ</p> <p>4 職員体制</p> <p>5 会長及び副会長選出</p> <p>6 議事等</p> <p>(1) 個別計画推進部会等の報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉計画推進部会 ・地域保健計画推進部会 ・地域包括ケア推進協議会 ・子ども・子育て会議 <p>(2) 新型コロナワクチン接種状況</p> <p>7 その他</p> | | | | |
| 問い合わせ先 | <p>健康福祉部地域福祉推進課計画担当</p> <p>担当者名 羽生孝明</p> <p>電話番号 042-393-5111(内線3183)</p> <p>FAX番号 042-394-7399</p> | | | | |
| 会 議 経 過 | | | | | |
| <p>会長及び副会長選出</p> <p>委員互選により、会長に黒田委員、副会長に河津委員が選出された。</p> <p>議事等</p> <p>(1) 個別計画推進部会等の報告</p> <p>(資料事前送付のため、概要説明については捕捉説明のみとした。)</p> <p>○会長</p> <p>事前配付資料の内容等について、まとめてご質問、ご意見等がありますか。</p> | | | | | |

○A委員

各分野の事業報告ありがとうございました。この新型コロナ禍において、各サービスに関わる従事者におかれては、様々な苦労があり本当に大変だったと思います。

1点質問があります。前回の保健福祉協議会においても意見のあった「引きこもり」の件についてですが、従来の計画のなかや、法制度のなかだけでは、なかなか関与できない部分と感じており、現に今の報告の中でも引きこもり問題としては表面化していません。ところが実態は極めて深刻な状況であろうと推察します。子どもの引きこもり・不登校も深刻だろうと思いますし、高齢者の引きこもりもしかりです。これらの問題についてどのように関わるのか、あらためて伺いたいと思います。

ちなみに、私が小平市で関わる社会福祉法人においては、社協と連携し、ご家族を対象とした学習会を開催するなかで、引きこもり当事者を対象とした居場所づくりを開始しました。運営については、補助金やボランティアな活動に頼らざるを得ない部分があり、東村山市ではどのようにしていくのかについても伺います。

○健康福祉部長

引きこもりについては、なかなか難しい問題であると認識しております。当市における引きこもりの対応についてですが、ひとつは、生活困窮の相談のなかで、結果としてご家族の中に引きこもりの方がいらっしゃることが判明した場合に、ご家族の意向に基づいた対応を適切に行っているところです。また、少ないケースですがご本人が生活相談にみえたときに、就労訓練をご案内するなど対応させていただくようなこともあります。

ご質問の東村山市が今後どのような取り組みを進めていくのかについては、現時点では結論は出ていません。ご案内のとおり、8050の対応であれば高齢者所管が中心となり、さきほどの生活困窮の対応であれば生活福祉所管が中心となります。また、お子さんの対応であれば教育所管が細部について対応を考えることになり、実際の対応にあたっては、お子さんから高齢者まで実に幅広い世代に亘って対応していかなければならないと認識しており、健康福祉部と教育所管とは今後も連携を図りながら対応していかなければならないと考えています。

○A委員

担当所管をあらかじめ決めておいたほうが良いと思います。今回の意見も、保健福祉協議会で出た意見として取り扱っていただければと思います。

○会長

なかなか難しい問題だと思います。ただ、ボランティアをあてにする対応だけではなかなか難しいため、行政でもなにか検討してみてください。

その他なにかありますか。

○B委員

新型コロナ禍の問題に関して、様々な事業が対応に追われるなか、特に「事業のはざまにある方々」の対応については、それぞれの民間団体等がかなり背負っていたのではないかと推察されます。例えば、学校が登校を制限した際には、本来は学校に通っている時間帯においても社会福祉法人が障害児の放課後デイサービスを引き受けるわけです。朝はご自宅を訪問して、夜は児童を送り届けるまでを担います。また、品川区にあるフリースペースは、通常であれば学校に通えない児童や引きこもり児童が集まる居場所なのですが、新型コロナ禍においては行政から感染症対策として利用を休止するように連絡がありました。この居場所を休止してしまうと行き場のない児童が出てしまうということで、表面上は休止としましたが、実情としては様々工夫しながら運営を継続していたようです。また、虐待防止センターにおいては、新型コロナ禍で行政からの問い合わせは減りましたが、民間団体からの問い合わせは逆に以前より増えている状況にあります。新型コロナを杓子定規に対応してしまうと「はざまにある児童、障害者」をどう対応していくのかという課題が残るため、それぞれの機関が知恵を出し合いながら運営しているところです。

お聞きしたいことが2点あります。まず、障害者福祉計画に関する資料のなかで、「平成25年度より、入庁3年目の市職員を対象とする『福祉に関する勉強会』を開催」とあります。すでに8年続けておられ、とても良いことだと思いますが、その内容に関して、障害者福祉の分野に限定しているのか、それとも高齢者や子どもも分野も含めているのか。講師はだれが務めているのか。内容は講演なのか演習方式なのか。回数は1回だけなのか継続しているのか。また、これまで8年続いており相当な数の受講者がいるわけで、効果についてはどのように評価されているのか。入庁3年目を対象にするというのは、就職後3年目に離職する方が多いことや仕事の理解が深ま

った時期に焦点をあてて研修を行っている」と推察しますが、研修の内容について教えてください。

○障害支援課長

この研修を実施する経緯についてですが、障害福祉サービス利用者から市職員に対して、障害福祉分野の情報提供や理解促進を目的とした研修会を実施するようご発声があったことなどから始まりました。現在は人事課と連携しながら研修を継続しており、当初は3年目職員を対象としていましたが、今では管理職・監督職に昇任した方や新入職員、希望する会計年度任用職員など幅広く実施しているところです。講師は人事課職員と各所管職員が担当します。内容は、当初の障害福祉分野だけでなく、生活福祉に関すること、介護保険に関すること、成年後見制度に関することなど福祉に関して幅広く実施することで、だれが相談を受けても対応できるように、最低限の知識をしっかりと身に付けておけるように実施しています。実施回数は年に1回ですが、市職員が講師を務めることで、講師役の職員の対人スキル向上も見込んでおり今後も継続実施を考えています。なお、今年度は新型コロナ禍のためビデオ視聴による研修としましたが、以前は受講者に白杖を渡し目隠しをした状態での歩行体験や、車いすの操作体験なども取り入れていました。

○B委員

大変良いことですので、どんどん進めていってください。電動車いすについて、実際に持ち上げてみると、とても一人では持ち上げられずこんなにも重いものかと実感できますし、また、電動車いすを運転してみると、カーブを曲がるのが意外と難しくトラブルが起きることがあったりします。また、市職員が講師を務めることについて、講師自身が勉強する必要があって、福祉分野の知識や経験が職員全体にひろがることはすごく良いことだと思います。

また、母子保健計画に関する資料のなかで、「妊娠・出産について満足している者の割合」が、令和元年から令和2年にかけて87.6%から77.6%に下がっている点、そして、「出産後1か月時の母乳育児の割合」が、46.0%から36.1%とやはり下がっている点が気になります。先ほどの補足説明では、新型コロナ禍の不安から祖父母による支援の機会が減ったことの説明がありました。一般的に考えると在宅勤務が増えたことから母乳育児が増えるかなとも思いますが、実際には粉ミルクの活用が増えたということで、あらためて新型コロナによる影響を思い知らされたというのが感想です。1点質問ですが、「乳幼児健診の受診率」について、タイトルが受診率であるのに対し、データが未受診率になっているのが気になります。こちらは、タイトルを未受診率にするかデータを受診率に変換するほうがわかり良いと思いますがいかがですか。

○子ども保健・給付課長

ご質問の乳幼児検査の受診率の表記については、国が計画する「健やか親子21」をベースとして指標等を作成していますので、一度確認させていただきます。

後日、ベースとなった国の計画「健やか親子21（第2次）」を確認したところ、タイトルは「乳幼児健診の受診率」となっているのに対し、データは「未受診率」の表記とともに未受診率が%表記されていました。

市としては、現行計画の表記はそのままとし、次期計画策定時にこのあたりをどう表記するのかについて検討していきたいと考えます。

○C委員

地域保健計画に関する資料のなかで、特定健康診査について、新型コロナ禍で外出を控えるなか肥満の人の割合が以前よりも増えている点がみられます。そして脂質異常、恐らく食事による影響と思われるが、こちらも増えてきているようにみえます。また、令和3年度の主な取組みのなかで、「毎月、健康栄養相談を実施している」という記載があります。肥満やメタボの方がこの健康栄養相談を受けているかは不明ですが、実際に栄養相談を実施した印象として、どういった方が相談に来られたのか。また、必要な方には特定健診のあと積極的支援を受けておられると思いますが、効果的な取り組み事例などがあれば教えてください。

○健康増進課長

まず、健康栄養相談については、ご自身の健康状態や栄養に関して相談のある方が事前申し込みにより参加するもので、毎月実施しています。相談内容については実に様々な相談が寄せられています。つづいて、特定健診のあとの保健指導についてですが、委員ご指摘のとおり肥満の方や脂質異常の方が増加傾向にあり、こちらは新型コロナ禍の影響もあるものと捉えておりますが、医師会の先生方をはじめとした専門家の指導を受ける機会を設けることで改善にむけた取り組みを進めたいと考えています。また、所管は異なりますが、糖尿病を予防する取り組みとして、糖尿病性腎症重症化予防診療というものにも別途取り組んでいまして、こういったところで改善を

図っていきたいと考えています。

○C委員

脂質異常については、私も気になっているところで、食事に由来するとも言われています。ウォーキングマップなども作成されているとのことでしたので、効果的に活用されるように引き続き市民の方に周知していただきたいと思います。

○会長

脂質異常に関して、今年度の特定健診では非常に増えている印象があって、改善されているケースは少ないと感じています。

議事等

(2) 新型コロナワクチン接種状況

(資料事前送付のため、要点のみ捕捉説明を行った。)

その他

○会長

その他に報告等がありますか。

○事務局

その他に報告事項は特にありません。

○B委員

本日の議事とは直接関係ありませんが、先日歯科医師会の事務局の方と話す機会があり、歯科施術の際に歯科医師と患者が密着するなかで新型コロナの影響について伺ったところ、歯科医師で感染された方はいないとのことで、これだけしっかり感染対策がなされているのならもっと周知しても良いのではと感じました。こういうことはお伝えしたほうがよいと思いましたので、せっかくの機会ですのご報告します。

○D委員

歯科医師に関しては、新型コロナ禍になる前から手洗い・マスク着用など必要な対策は徹底して実施しており、以前より対策は変わっていません。新型コロナに限らず、あらゆる感染症予防のために対処しています。

○会長

予定していた議事等は以上ですが、事務局なにかありますか。

○地域福祉推進課長

事務局より、次回以降の会議開催予定についてお知らせします。例年であれば、年度末に第2回を開催していますが、新型コロナ禍の状況、各部会等の進捗状況を踏まえ、あらためて開催時期についてご連絡します。

以上で、本日の保健福祉協議会を終了させていただきます。

閉会